

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマートきさらづ		
○保護者評価実施期間	令和7年11月17日		令和7年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和7年11月17日		令和7年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが楽しく、安心して通所できている。	保護者様や学校の先生など、関係機関へ必要な情報共有を行っている。事業所が明るく、安心できる雰囲気になるようにスタッフ一人一人が笑顔や声かけを意識して行っている。	ボランティアとの連携を強化して行く予定
2	職員の配置数、有資格や勤務年数が5年以上の職員が半数以上いる。	その日のお子様の特性・人数にあった人員を配置している。	人員に余裕を持たせることで、より質の高い支援を提供する。
3	活動が固定的にならないように、バランスを考えた活動プログラムで実施している。	季節の行事やレクリエーションに加え、個別学習や班活動(園芸班 ものづくり班 リサイクル班 自立活動班 生活スキル班)の活動も取り入れている。毎月月間スケジュールを作成している。	活動後の利用者の満足度や意欲の変化を評価し、次回の活動に反映させていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を作れていない。	児童クラブ等との連携の難しさがある。	実際に交流を行っている事業所への視察など情報収集。
2	児童発達支援センターとの連携や、自立支援協議会等への参加ができていない。	積極性がなかった。時間の工面が難しさがある。	管理者が積極的に参加や連携を行っていく。
3	父母の会の活動の支援や、保護者等の開催等により、保護者同士の交流の機会や、きょうだい向けのイベントの開催が出来ていない。	コロナが明け、保護者会は、今年度から再開しておりますが、きょうだい向けのイベントの開催をしたことがない。	職員で意見を出し合って考えていく。